

2026年2月3日

受益者の皆さんへ

農林中金全共連アセットマネジメント株式会社

マンスリーレポートにおける記載内容の訂正について

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

弊社ファンドに毎々格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。

この度、弊社が作成したマンスリーレポートにおきまして、一部誤った記載内容がございましたので下記の通り訂正させていただきます。

受益者の皆様には大変ご迷惑をおかけすることとなり、深くお詫び申し上げますとともに、今後このようなことが発生しないよう再発防止に努める所存でございます。

謹白

記

1. 対象

「JA 海外株式ファンド」のマンスリーレポート

(基準日：2025年11月28日)

2. 訂正内容

別紙をご参照ください。

以上

JA海外株式ファンド【正誤表(下線訂正)】

【正】

第 2 項

運用担当者のコメント

11 月の市場動向と運用状況「市場動向」

2025 年 11 月のグローバル株式は横ばいで終えました(円ベースでは上昇)。月前半は人工知能(以下「AI」という)関連銘柄や相場の割高感が意識され、下落して始まりました。その後、米政府機関閉鎖の解除による経済正常化期待が高まり、上昇する場面もありましたが、米連邦準備制度理事会(以下「FRB」という)による利下げ観測の後退や英財政不安が重荷となつたほか、NVIDIA の決算発表を控えていたことから、AI 相場の継続性への警戒感が高まり、ハイテク株の売りが優勢となりました。一方で、ヘルスケアや素材関連株などが堅調に推移し、指数を下支えしました。月後半は米景気の減速感を示す経済指標を背景に FRB による追加利下げ観測期待が高まり、買い戻しの動きが進んだ結果、前月末水準まで回復しました。ベンチマークの月末終値は、前月比 +1.59% の 2,536,652 ポイントとなりました。

【誤】

第 2 項

運用担当者のコメント

11 月の市場動向と運用状況「市場動向」

2025 年 11 月のグローバル株式は上昇しました。月前半は、米連邦準備制度理事会(以下「FRB」という)が追加利下げを行うとの見方が強まり、人工知能(以下 AI という)半導体関連株の上昇が指数を牽引したほか、米政府と製薬大手の薬価引き下げ合意や 3 年間の関税免除決定が好感され、ヘルスケア関連株も上昇しました。その後、中国のレアアース輸出規制を受け、米国が対中関税強化を示唆したことで一時下落しましたが、米中摩擦懸念が和らぐと上昇に転じました。月後半は、米中摩擦懸念の緩和や米利下げ観測が追い風となる中、AI 半導体関連株の成長期待の上昇が指数を牽引し、株価は上昇しました。ベンチマークの月末終値は、前月比 +1.59% の 2,536,652 ポイントとなりました。